

○プロローグ

(1)蜀漢の丞相亮、衆十万を悉くして、又斜谷口より魏を伐ち、進みて渭南に軍す。

ナレーター

「二二〇年、魏の曹丕が後漢を滅ぼし帝位につくと、蜀の劉備・呉の孫権も相次いで建国し、三国時代が始まった。」

(2)魏の大將軍司馬懿、兵を引きて拒守す。

ナレーター

「二三四年、蜀の軍師である諸葛亮は十万もの軍勢を引き連れ、魏の討伐へと向かい、五丈原にて戦いの火蓋が切り落とされようとしていた。」

(3)亮数司馬懿に戦ひを挑む。

ナレーター

「諸葛亮は何度も司馬懿に戦鬪を挑んだが、魏の大將軍である司馬懿は、なかなか諸葛亮と戦おうとはしなかった。『①』。」

(4)懿出でず。

【ポイント1

蜀と魏の力関係】

問一 なぜ魏の司馬懿(仲達)は戦おうとしないのか、なぜ蜀の諸葛亮(孔明)は戦いたいか、資料から読み取って、魏と蜀の国力の差に触れながら、ナレーターの台詞を考えて『①』に入れよ。

【ポイント1 蜀と魏の力関係】の資料

資料イ：魏と蜀の国勢を以下のように比較する。魏が十二州、六十六万戸、四百四十三万人を支配するのに対し、蜀は益州一州二十八万戸、九十四万人を支配するに過ぎない。(中公文庫『諸葛孔明』一九八五年)

資料ロ：五丈原に対峙する司馬懿率いる魏軍側は三十万、蜀の三倍もの大軍を擁しているため、当然蜀軍が五丈原から平原に折り立って戦えば、圧倒的な兵数で勝る魏軍が圧勝することは目に見えていた。諸葛亮は魏軍を挑発して討って出たところに隙を見つけて撃退するしか勝利の見込みがなかったのである。しかし、当然のことながら、司馬懿は長期戦の構えである。○

資料ハ：五丈原に布陣した諸葛亮孔明は、兵糧の補給が思うようになかった。一方、魏の司馬懿仲達は、三十万の大軍を率いて、渭水の南側に砦を成した。多量の備蓄米が積蔵されていたので、持久戦に持ち込まれても心配ないと踏んでいた。○

資料ニ：

○シーン1 魏の軍営

(5)乃ち遺るに巾幗婦人の服を以つてす。

ナレーター

「ある日、諸葛亮の使者が、司馬懿の軍営を訪ねた。」

蜀の使者

「わが君主からの贈り物でございます。」

ナレーター

「と、贈り物を差し出す。」

ナレーター

「使者が箱を開ける。箱の中には『②』が入っていた。息をのむ魏の家臣たち。」

ナレーター

「家臣たちが熱く司馬懿を見つめる。」

【👤ポイント2
当時の中国文化】
問二 贈り物は何か、資料から読み取って、詳細に②に記載せよ。

司馬懿

「『③』」

司馬懿の心

(『④』)

ナレーター

「贈り物には手紙が添えてあった。司馬懿が文面に目を通すと、不思議とあの諸葛亮が目の前にいて自分に話しかけているかのように再生された。」

諸葛亮

「司馬懿よ、『⑤』」

諸葛亮の心

(『⑥』)

【👤ポイント3
諸葛亮の挑発】
問三 諸葛亮が司馬懿に女性ものを贈る行動について、資料から読み取り、司馬懿の建前を『③』の台詞に入れ、実際の気持ちを『④』の心の声として記載せよ。
問四 諸葛亮が司馬懿に女性ものを贈る行動について、諸葛亮の建前を『⑤』の台詞に入れ、何のために贈るのか本来の目的を『⑥』の心の声として記載せよ。

【👤ポイント3 諸葛亮の挑発】を組み込んでいるか

資料ホ：魏の明帝は司馬懿に対して、蜀に討って出ることを禁じていた。天才軍師である諸葛亮を畏れていたからだ。諸葛亮は婦人用の髪飾りと着物を司馬懿に送り付けて「男なら戦え。さもなくば女装でもして物笑いになるがよい。」と嘲笑って、挑発する。怒った司馬懿は明帝に決戦の許しを請うが、許されず、出撃の機会を失ってしまった。○

資料ヘ：『漢晋春秋』によると、司馬懿はもともと積極的に蜀と戦うつもりもなかったが、挑発行為に対して

○シーン2 魏の軍営

(6)亮の使者懿の軍に至る。

ナレーター

(7)懿其の寝食及び事の煩簡を問ひて、戎事に及ばず。

蜀の使者

「また別の日、蜀の使者が魏の陣営でやりとりを終えて、立ち去ろうとしている。」

「それでは失礼致します。」

(8)使者曰はく、「諸葛公夙に興ぎ夜に寐ね、罰二十以上は皆親ら覽る。噉食する所は数升に至らず。」と。

シーン2における

脚本作成上の条件①

下記の続きから

・蜀の使者

・司馬懿

は登場させ、台詞を必ず書け。

シーン2における

脚本作成上の条件②

諸葛亮の仕事ぶりについて資料を参考にして書け。

【ポイント4

諸葛亮の仕事ぶり】



【ポイント4 諸葛亮の仕事ぶり】を組み込んでいるか

資料ト…もともと孔明は、自分にいくらかでも責任ある仕事があれば、それを人任せにできないたちであった。成都で丞相府の務めに忙しいときでも、小さいところまで、目配り、気配りを忘れなかった。おそらく五丈原の陣中でも事情は同じであったに違いない。○

資料チ：有能であるがゆえに諸葛亮は、すべての仕事を自分で背負い込んだ。本来、丞相という国家全体の責任者が、軍を率いて自ら戦う必要などはない。あまりの激務ぶりに、見かねた部下が「すべての仕事を気にかけることはおやめください」と進言したことがある。自分を心配してくれる部下の言葉に、諸葛亮は喜び、感謝をしたのだが、結局は全ての仕事をこなし続けた。責任感が彼を駆り立てたのである。

○シーン3 魏の軍営

(9)懿人に告げて曰はく、「食少なく事煩はし。」

ナレーター

(10)其れ能く久しからんや。」と。

ナ「蜀の使者が立ち去った後、司馬懿は重臣に言った。」

シーン3における

脚本作成上の条件①

下記の続きから

- ・司馬懿は登場させ、台詞を必ず書け。
- ・ナレーターと魏の重臣を登場させ、台詞を持たせるかは自由。

シーン3における

脚本作成上の条件②

司馬懿が蜀の使者に軍事のことを尋ねず、食事や生活について訪ねた理由を記載せよ。

【🗨️ポイント5

司馬懿の策略】

△シーン4▽ 蜀の軍営・夜

(11) 赤くして芒あり。

ナレーター

(12) 亮病篤し。

「それからまもなくして、赤く大きな彗星が諸葛亮の軍営に落ちた。まもなくして諸葛亮が死んだ。」

(13) 大星有り、亮の営中に墜つ。

(14) 未だ幾ならずして亮卒す。

△シーン5▽ ○ 蜀の軍営

(15) 長史楊儀軍を整へて還る。

ナレーター

「楊儀指示のもと、蜀の軍営をたたみ、退却する様子を、庶民が盗み見ている。」

楊儀の心

（魏軍の追撃による損害を最小限に抑えるために、我が軍をまとめ退却しよう。）

○シーン6 魏の軍営

(16)百姓奔りて懿に告ぐ。

(17)懿之を追ふ。

(18)姜維儀をして旗を反し鼓を鳴らして、将に懿に向かはんとするがごとくせしむ。

(19)懿敢へて逼らず。

ナレーター

「庶民が魏の軍営に駆け込んできて魏の兵士に何かを伝えている。庶民から何事かを聞いた兵士は血相を変えて、報告のために走った。」

魏の家臣

「司馬懿さま、大変なことでございます。」

司馬懿

「どうしたのだ。」

魏の家臣

「蜀軍が退却しております！」

【🗨️ポイント6

当時の戦についての知識】

問八 旗と太鼓はなぜ戦に必要なのか、資料を参考にし
て『⑨』に加筆せよ。

司馬懿

「なんと！追うのだ！全兵力を賭けてすぐに追え！」

ナレーター

「司馬懿の号令で、司馬懿率いる魏軍が一目散に蜀軍を追う。」

【🗨️ポイント9

姜維の行動の意図】

問十 姜維の行動の意図を心の声として『⑩』に加筆せよ。

司馬懿

「やはり、孔明は死んだのだな。」

ナレーター

「姜維は楊儀に『⑨』、蜀軍を率いて待ち受けて今にも司馬懿に戦いを挑もうというようにさせた。」

姜維

「我が蜀軍の旗をひらめかせ！軍鼓を打ち鳴らせ！念願かなったり！魏を討つぞ！」

【🗨️ポイント8

諸葛亮の策略】

問九 司馬懿が強いて迫ろうとしなかったのは、諸葛亮のどんな策略を感じたからか、司馬懿の心の声を『⑪』に加筆せよ。その際、司馬懿が、諸葛亮の生死についてどう思っているのかということに対するあなたの考えも明らかにして書け。

姜維の心

(『⑩』)

ナレーター

「あまりの威勢にたじろぐ魏軍。」

司馬懿の心

「『⑪』」

ナレーター

「司馬懿は強いて迫ろうとしなかった。」

○エピローグ

(20) 百姓之が諺を為りて曰はく、
「死せる諸葛生ける仲達を走らす。」と。

(21) 懿笑ひて曰はく、「吾能く生を
料るも、死を料る能はず。」と。

ナレーター

「これを伝え聞いた人々は諺を作って、」

エピローグにおける

脚本作成上の条件①

下記の続きから

- ・ 司馬懿
 - ・ 人々
 - ・ ナレーター
- は登場させ、台詞を必ず書け。

エピローグにおける

脚本作成上の条件②

司馬懿の最後の台詞には彼の
どんな気持ちがかめられて
いるかを踏まえて、笑いの種
類を必ず入れて記載せよ。

【🗨️ ポイント9

司馬懿の最後の台詞に込めら
れた心情】

『共通問題1』

1 ①(3)(4)について、なぜ司馬懿は戦おうとしないのか、なぜ孔明は戦いたいのか、魏と蜀の国力の差に触れながら、ナレーターの台詞を考えよ。『10蜀と魏の力関係』

『全員共通問題2』

2 ②(5)について、孔明が司馬懿に女性ものを贈る行動について、孔明と司馬懿のそれぞれの建前と実際の気持ちを考えよ。

『1諸葛亮の挑発』

3 ⑨(9)～(10)について、司馬懿が蜀の使者に軍事のことを尋ねず、食事や生活について訪ねた理由を記載せよ。

『2司馬懿の策略』

5 ⑩(16)～(19)について、姜維の行動の意図を心の声を加筆せよ。

『5姜維の行動の意図』

4 ⑩(15)について、楊儀の行動の意図を心の声を加筆せよ。

『4楊儀の行動の意図』

7 ⑭(14)～(20)～(21)について、最後の台詞を言った司馬懿の笑いにはどんな気持ちがかめられているか踏まえて、笑顔の種類を書け。『6司馬懿の最後台詞の気持ち』

6 ⑬(13)～(16)～(19)について、司馬懿が強いて迫ろうとしなかったのは、諸葛亮のどんな策略を感じたからですか。司馬懿の心の声を加筆せよ。『3・諸葛亮の策略を組み込んでいる』

『分担問題3』

8 ③(3)～(5)について、贈り物である女性の服の描写を記載せよ。『7当時の中国文化』

9 ⑫(12)～(16)～(19)について、どんな旗と太鼓なのか、加筆せよ。『8当時の戦についての知識』

10 ⑪(11)～(14)について、当時、星は何を表しているのか加筆せよ。『9当時の星に対する人々の考え方』
⑦(7)～(6)～(8)について、軍営の仕事だけでなく、蜀での役職の仕事を追加せよ。『11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶりに』

【✓内容チェック1 諸葛亮の挑発】
【✓内容チェック2 司馬懿の策略】
【✓内容チェック3 諸葛亮の策略】
【✓内容チェック4 姜維の行動の意図】
【✓内容チェック5 楊儀の行動の意図】
【✓内容チェック6 司馬懿の最後の台詞に込められた心情】

【✓内容チェック7 当時の中国文化】
【✓内容チェック8 当時の戦についての知識】
【✓内容チェック9 当時の星に対する考え】
【✓内容チェック10 蜀と魏の力関係】
【✓内容チェック11 諸葛亮の仕事ぶり】

@1・諸葛亮の挑発を組み込んでいる
@2・司馬懿の策略を組み込んでいる
@3・諸葛亮の策略を組み込んでいる
@4・楊儀の行動の意図を組み込んでいる
@5・姜維の行動の意図を組み込んでいる
@6・司馬懿が最後の言葉に込めた気持ちを組み込んでいる

⋈補足設定的なこと⋈

@7・当時の中国文化を反映させている(服装など)
@8・当時の戦についての知識を反映させている
@9・星に対する当時の人々の考えを反映させている
@10・蜀と魏の力関係と、蜀が魏の討伐を続ける理由を組み込んでいる
@11・諸葛亮の当時就いていた役職とその仕事ぶり

について反映させている

1 2・人物同士の力関係を反映させている